

第 4 卷

181

鄉土地誌及史談

我が多氣郡高等小學校ノ本校ハ阪本ニアリ。齋宮、明星ノ二村ハ伊勢街道ニ沿ヒテ、旅店多ク、紙葎入、合羽、菅笠等ノ名産アリ。齋宮ニ登記所アリ。同地ノ野ノ宮ハ齋王宮ノアトニシテ、馬之上ニハ隆子齋王ノ陵アリ。コノ六ヶ村ハ地勢一般ニ平坦ニシテ山ナク、處々ニ森林アルノミナリ、殊ニ伊勢街道ヨリ北ハ田圃廣ク、菰川(稻木川)ノ水ヲ引キテ灌漑ス、米、麥、菜種ナド産額多ク、又、御絲木綿ヲ出ス。伊勢海ニ沿ヒタル地ニハ鱚、鯉等ノ漁獵多ク、東黒部ニ

テハ鹽ヲ製ス。

海濱ハ一帯ニ海淺ク波平ニシテ朝熊岳及ビ三河、尾張ノ山々ヲ遠ク見晴ラシ、景色甚ヨロシ。大淀ノ業平松ハ、今ヨリ千年バカリノ昔、在原業平コノ樹下ニテ、時ノ齋王ト互ニ唱和シテ慰メラレシコトアレバ、斯ク呼ブトナン。

中 部 (東)

相 可 村

大字(河相、荒時、兄國、西池上、東池上、弟國、朝長、

西外城田村

大字(野中、田中、森庄、矢田、笠木、土羽、相鹿瀬、

佐奈村

大字一〇仁田、西山、五佐奈、四神田、油夫、五桂、平谷、

津田村

大字一〇佐伯中、三疋田、四疋田、井内林、鉄形、牧、津留、

我が多氣郡高等小學校第一分校ハ相可ニアリ。相可ハ熊野街道及ビ中街道ニソヒ郡内ニテ最賑カナル所ニシテ郡役所、警察署、收税署、登記所等アリ、相可菜ヲ産ス。弟國ニ參宮鐵道ノ相可停車場アリ、コヽニテ瀛車ニ乗レハ宇治山田町又ハ松阪町、津市等ニ至ルヲ得。佐奈村ニハ密柑、筍、松蔭等ノ産物アリ。五桂池ハ周回一里ノ大池ナリ。

コノ四ヶ村ハ丘陵多ケレトモ、其ノ間ニハ平地ヨク開ケ、米、菜種、薯蕷等産額少カラス。

中部（西）

丹生村

五ヶ谷村

大字一古江、〇朝柄、片野、波多瀬、車川、土屋、色木、

川添村

大字一〇千代、柳原、枋原、〇新田、神瀬、下楠、上楠、

我が多氣郡高等小學校ノ第二分校ハ古江ニアリ。古江ニハ五箇篠山ノ城址アリ。

丹生ハ今ヨリ千百年バカリノ昔、弘法大師全國

ヲ巡レリシ時、三年間トドマリシ地ニシテ、今尙之ヲ祀レリ。潮ノ湯アリ、又、大師湯ト云フ。五ヶ谷、川添ノ二村ハ山間處處ニ田圃アリ、郡内ニテ製茶ノ最盛ナル所ナリ。ソノ他朝柄煙草、葛柿等ノ産物アリ。

西部

三瀨谷村 大字一 長ヶ、下三瀨、上三瀨、〇佐原、彌起井、上菅、菅合、大ヶ所、
 萩原村 大字一 下真手、上真手、本田小屋、小切畑、江馬、〇天ヶ瀬、栗谷、熊内、茂原、園、滑漕、菅木屋、
 領内村 大字一 唐櫃、御糠、小瀧、神瀧、〇瀧谷、大井、南村、

大杉谷村 大字一 岩井、拾原、久豆、大杉、
 上三瀨ニ北畠具教ノ城址アリ。
 三瀨谷ヨリ西ハ山高ク、谿深ク、土地狭クシテ、人家ハ川ニ沿ヒテ所所ニ建テラレタリ。山ニハ大臺原山、國見山等アリ、谿ニハ大杉谷、栗谷等アリ。三重縣内ノ深山ニシテ、宮川ノ水源ナリ。産物ニハ杉、檜、樅、檜、楠等ノ木材及ビ椎茸、鹿猪等アリ。

総説

地勢——東部伊勢海ノ近傍ハ平地多ク、西部大和ノ境ハ山多シ。水流ハ概子宮川ト川俣川トニ合ス。佐奈川、車川ナドアリ。

區劃——村數十七、戶數凡七千三百、人口凡四万五千、田地四千百町步、畑地一千四百町步アリ。生業、產物——農業最盛ニシテ、五穀ハ中部ヨリ東ニ多ク、茶ハ中部ニ多ク產ス、ソノ他ハ菜種、木材等ナリ。製造物ハ酒、醬油、種油等ヲ多額トス。

道路——伊勢街道、熊野街道、和歌山別街道、中街道、

及ビ相可道、御絲道、大杉道等アリ。

郵便電信——相可郵便電信局ノ外、東黒部、齋宮、丹生、粟生、江馬ノ各郵便局アリ。

氣候——全郡中和ナレ、西部ノ山地ハ稍寒ク霧多シ。

郡村政事——郡ニハ郡長アリ、官撰トス、村ニハ村長アリ、投票撰舉ナリ、又郡會、村會アリテ、郡村ノ共同事業、歲入出豫算等ヲ議定ス。維新前ノ郡治——維新以前ハ天領、紀州領、鳥羽領等ニ分レ居タリ。

郷土地誌及史談 上編終

郷土地誌及史談 下編

史談

産土神氏神

何レノ地何レノ村ニテモ産土神又ハ氏神ヲ祀
ラサルハナシ。産土神トハソノ地ヲ開キタル
祖神氏神トハソノ地ニ住マヘル諸々ノ氏ノ先
祖ナリ、産土神ニシテ氏神ナルモ多ケレド、又全
ク別ナルモアリ。氏神ノ子孫ハ皆氏子ト呼ブ、
氏子ガ年年ソノ祭ヲ行フハ皆本ニ報イ始ヲ忘

レサル誠ヲイタスモノナリ。

内宮、外宮

内宮ニハ天照大神ヲ祀リ奉リ、外宮ニハ豊受大神ヲ祀リ奉ル。

天照大神ノ父尊ヲ伊弉諾尊、母尊ヲ伊弉册尊ト申シ奉リ、始メテ我が國ヲ開キ給ヒ、更ニ天下ノ皇タルベキ神トシテ天照大神ヲ生ミ給ヘリ。後世ニ尊ヲ天祖ト稱シ奉ル。

天照大神明德マシマシテ天地ノ間ヲ照シ給ヒ

父尊ノ命ニ從ヒテ高天原ヲ治メテ、衣食住ノ道ヲハジメサセ給ヒ、後又國土ヲモ治メ給ヘリ。

時ニ大神ノ弟素盞鳴尊ノ裔大國主命、出雲國ニアリテシバシ此ノ國ヲ支配シ給ヘリ。サレド

假ニ主宰トナリ給ヘルコトナレバ、天照大神ハ使ヲヤリテ勅ヲ下シ給ヒシニ、大國主命ハ謹ミ

テ國土ヲ獻シ奉レリ。(今ノ出雲ノ大社ハコノ大國主命ヲ祀レルナリ)

斯クテ天照大神ハ御孫彦火瓊瓊杵尊ヲ此ノ國ノ皇トシテ降シ給ヒケリ。ソノ時「我が日本國ハ朕ガ子孫ノ皇タルヘキ地ナリ、爾就キテ治メ

ヨ寶祚ノ隆エマサンコト天壤ト窮ナカルベシト宣ヒテ君臣ノ分ヲ明ニシ又三種ノ神器ヲ授ケテ天位ノ信トシ給ヒケリ。三種ノ神器トハ八咫鏡天叢雲劔八尺瓊曲玉是ナリ。後世大神ヲ皇祖ト稱シ奉ル。

皇祖皇孫ニ神器ヲ授ケ給フ時寶鏡ヲ手ニシテ子孫此ノ寶鏡ヲ視ルコト當ニ朕ヲ視ルカ如クスベシト宣ヒケルヲ以テ後世ニ至リ寶鏡ヲ以テ皇祖ノ靈トシ内宮ニ祀リ給ヘルナリ。蓋三種ノ神器ハ紀元五百七十年ノ頃マテ皇居ノ内

ニ安ンジ給ヘリシガ崇神天皇神威ヲ瀆サンコトヲオソレ宮中ニハ摸造ノ御品ヲトドメテ鏡劔ヲ倭ノ笠縫邑ニ遷シ祭ラレ後又垂仁天皇ノ時移シテ今ノ所ニ祀リ奉ラレタリ是今ヨリ凡一千九百年前ノ事ナリ。御劔ハ後尾張ノ熱田神宮ニ祀リ曲玉ハ今モ猶宮中ニアリ。豐受大神ハ天照大神ノ時ニ於テ衣食ノ本ヲ開カレシ御神ナレバ特ニ外宮トシテ崇メ奉ルナリ。初丹波國ニ祀レリシヲ今ヨリ千四百餘年ノ昔雄略天皇ノ時之ヲ今ノ所ニ遷サセ給ヘリ。

齋王宮

崇神天皇、天照大神ノ祭リヲ初メテ皇女豐鋤入
姫命ニセサセ給ヒシヨリ以後、特ニ内親王ヲシ
テ天皇ニ代リテ大神宮ニ仕ヘ奉ラシメラレキ。
其ノ内親王ハコレヲ齋王ト稱シ、大神宮ノ伊
勢ニ遷座マセシヨリ後ハ、今ノ齋宮ノ地ニ宮居
セラレケリ。斯クテ其ノ式一千四百餘年ノ間
打續キタリシガ御醍醐天皇ノ御代ニ至リ、兵亂
ノ爲ニ廢レタリ。

今ヨリ凡九百三十年バカリ以前ノ齋王ニ醍醐
天皇ノ皇女ニテ隆子内親王ト申サルルアリ、痘
瘡ノ爲ニコノ地ニテ薨シ給ヘリシガ、ソノ陵ハ
上御絲村大字馬之上ニアリ。

三瀨御所

三瀨御所ノ址ハ三瀨谷村大字上三瀨ニアリ。
今ヨリ三百餘年ノ昔、伊勢國司北畠中納言具教
ノ城キテ居リシ地ナリ。北畠氏ハ村上天皇ノ
末孫ニシテ、世々忠勤ノ家ナリ、中ニモ親房ト云

ヘルハ具教數世ノ祖ナルガ後醍醐天皇ニ仕ヘ
テ殊ニホマレ高カリキ。
ソノ頃ハ後ノ世ヨリ南北朝ノ世ト呼バレ逆臣
足利尊氏京都ニ據リテ別ニ天皇ヲ立テ後醍醐
天皇ハ逃レテ大和ノ吉野ニ幸シ給ヒ天下大ニ
ミダレタリキ。親房ハソノ子顯家顯信相ツギ
テ陸奥國ヲ治メケレバ老身ナカラモ之ヲ助ケ
テ賊軍ヲ討チ種種ニ艱難シテ朝廷ノ恢復ヲハ
カリケリ。サレド忠臣楠新田ノ諸將モ死シ二
子モ相ツギテ死シテケレバ時ノ至ラザルヲナ

グキテ吉野ニ歸リ神皇正統記ヲ著シテ皇祖國
ヲハジメラレタル深意ヲ詳ニシ南朝ノ正統ナ
ルコトヲ明ニセリ。

親房ノ三男ヲ顯能ト云フ功ヲ以テハジメテ伊
勢ノ國司ニ任セラレ一志郡多氣ニ御所ヲカマ
ヘ南勢伊賀大和志摩紀伊等ヲ管轄シテ賊ニ抗
セリ是紀元二千年ノ頃ナリキ。

具教ハソノ數世ノ後ナリ。當時ハ戰國トテ兵
亂四モニ起リ弱肉強食ノ世ナリケレバ、コノ國
モ時ノ豪傑織田信長ニ攻メラレ具教ハ多氣ヨ

リ大河内ニ退キ、遂ニ三瀨御所ヲ最後トシテ滅ボサレタリ。初、具教、信長ノ子ヲ養ヒテ嗣トナシシニ、後之ヲ悔イ、ヒツカニ信長ヲハカリシカバ、却テ攻メラレケルナリト云フ。

結城宗廣

結城宗廣ノ祖先ハ、倭藤太秀郷ヨリ出デ、代代奥州ニ居レリ。北條高時ノ兵ヲ起シテ、後醍醐天皇ニ叛クヤ、宗廣詔ヲ奉シ、新田義貞ニ從ヒテ之ヲ討チ、後又、足利尊氏ノソムクニ及ビ、北畠顯家

ト共ニ之ヲ追ヒテ京畿ニ上リ、處處ニ戰ヒテ、屢賊軍ニ勝テリ。然レ、凡義貞、顯家等終ニ戰死シ、官軍振ハズナリケレバ、宗廣國ニ歸リ、再舉テハカラント欲シ、皇子ヲ奉シテ海ヲワタリケルニ、遠州灘ニテ暴風ニアヒ、伊勢ノ安濃津ヘ吹着ケラレ、遂ニ病ミテ卒ス。明治十五年ニ至リ、別格官幣社トシテ祀ラル、其ノ碑ハ藤堂高兌ノ建テシモノナリ。

藤堂高虎

附縣下ノ舊諸城主

藤堂高虎ハ藤堂氏ノ祖先ニシテ初身分ヒクキ
人ナリシガ幼ヨリ勇武ナリケレバ處々ノ戰ニ
出テテ功アリ。大閤秀吉ニ知ラレ朝鮮征伐ニ
ハ九鬼嘉隆等ト舟師ノ大將トシテ頗高名セリ。
後徳川家康ニ從ヒ關原戰大阪役共ニ勳功ヲア
ラハシ伊賀伊勢ニ封セラレ居城ハ伊賀ノ上野
伊勢ノ津等ニアリケリ。ソノ七代目ノ城主高
兌ノ時ニハ津阪東陽齋藤拙堂等ノ學者ヲモ出
シタリ。
尤鬼嘉隆ハモト牟婁郡ニ生長シ近國ノ海賊ヲ

ウチテ其ノ害ヲノゾキ遂ニ鳥羽ニ城キテ居リ、
大閤秀吉ヨリ志摩全國ヲ與ヘラレタリ。鳥羽
城ハ維新前ハ稻垣氏之ヲ領シケリ。
其ノ他桑名ノ城ハ初徳川家康ガ四天王ノ隨一
ト呼バレタル本多忠勝之ヲ領シ後ニ松平定信
之ニ封セラレタリ定信ハ樂翁ト號シ賢者ナリ
キ。松阪ノ城ハ蒲生氏郷ノ築キシモノニシテ、
後ニ紀州和歌山ノ藩主徳川氏之ヲ領セリ紀州
候ハ御三家ノ一ニテ徳川將軍ノ支レナリ。

本居宣長

松阪城址ノ下ニ本居神社アリ、是國學中興ノ祖ト呼バレタル本居宣長ヲ祀レルモノナリ。宣長ハ松阪ニ生レ、二十三歳ノ時京ニ出デテ醫術ヲ學ビ、又漢學ヲ修メタリシガ、後ニ倍ル所アリテ國學ニ志シ、年七十二歳ニシテ歿スルニ至ルマデ、研究シテ怠ラズ、終ニユノ學ヲ大成シ、又尊王愛國ノ大義ヲ説キテ人ヲ教ヘ導キケリ、門人ノ數ハ五百人ニ及ビ、著書五十部、百八十卷アリ。

リ、古事記傳最著ハル。

明治十六年朝廷ヨリ特ニ正四位ヲ贈ラル。

敷島のやまと心を人とはッ旭に匂ふ山櫻花

松尾芭蕉

發句俳諧ノ道ニ於テ最名高キハ芭蕉ナリ、旅にねて夢はかれ野をかけめぐるコレソノ辭世ノ句ナリトゾ。芭蕉ハ伊賀ノ栢植ニ生レ、上野ノ藤堂氏ニ仕フ、後ニ隱居シテ、江戸ノ深川ニ住シ、自芭蕉翁ト號セリ。カクテ雲水ニ身ヲヤツ

シ俳諧ヲ樂ミトシテ、四方ヲ經メグリケレバ、諸國ニ句碑多シ。阿漕塚ナル月夜の何カ阿漕アサウノ鳴く千鳥チトリモ芭蕉ノ句ナリト云フ。

高田山專修寺

專修寺ハ眞宗高田派ノ本山ニシテ一身田ニアリ。初親鸞上人眞宗ヲヒラキ寺ヲ下野ノ高田ニ建テタリシニ、今ヨリ四百三十年バカリノ昔、僧眞慧コレヲ移シテ、此ノ派ヲハジメタリ、末寺數百ヲスベ、本縣第一ノ巨刹ナリ。御七夜トテ

毎年一月九日ヨリ七日間盛ニ讀經ヲナス。

製絲製茶

製絲ハ縣下ニテハ伊藤小左衛門之ヲハジメタリ。小左衛門ハ三重郡室山ノ人ニシテ、四日市ニソノ碑アリ。製茶モ伊藤小左衛門之ヲヒロメ、南勢ニテハ竹川竹齋モ之ヲス、メタリ。竹齋ノ碑ハ飯南郡射和村ニアリ。

郷土地誌及史談終

明治二十九年五月二十七日印刷
全 年六月十日發行

編著者 浦和彦 七

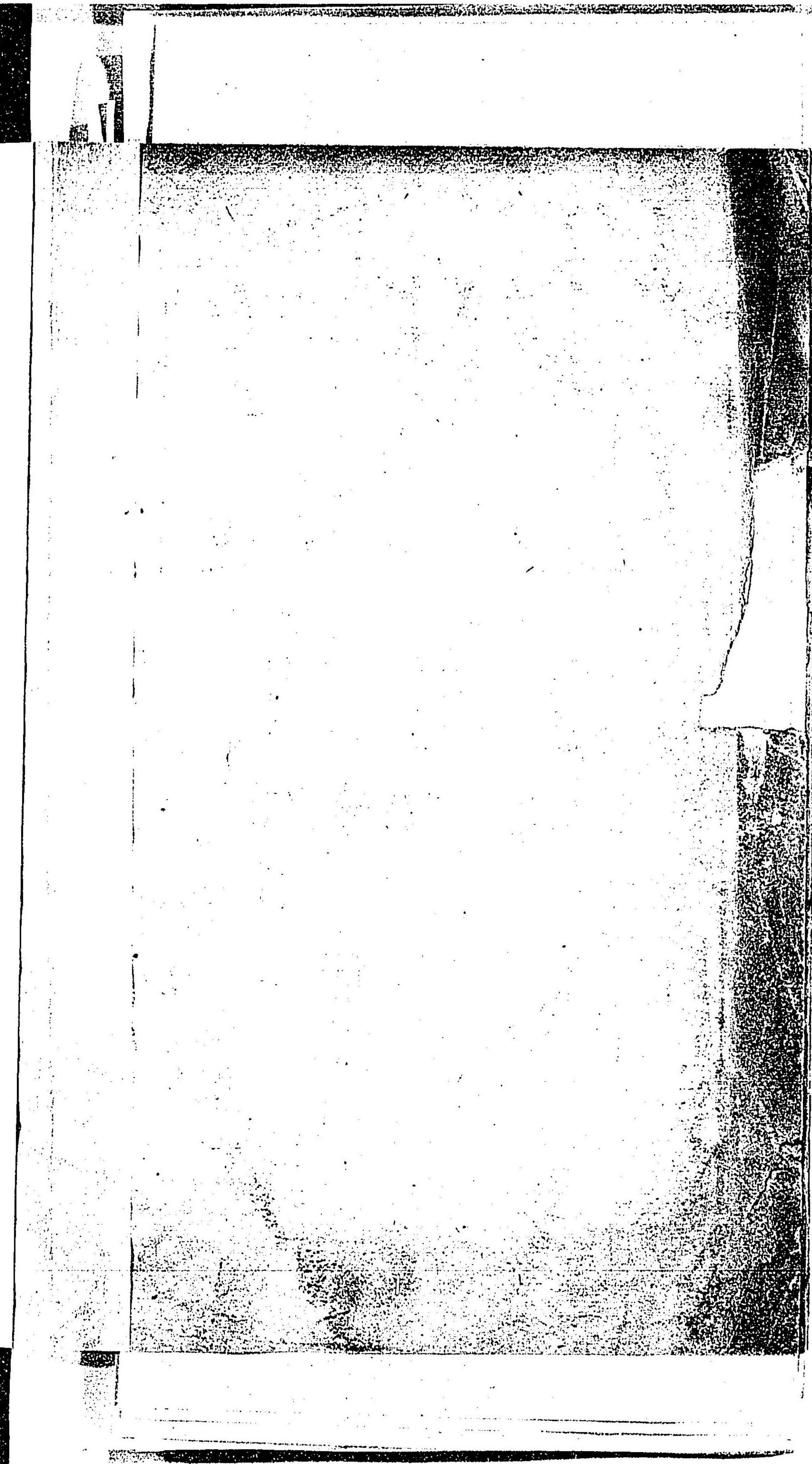
三重縣多氣郡相可村大字
相可百二十五番屋敷寄留

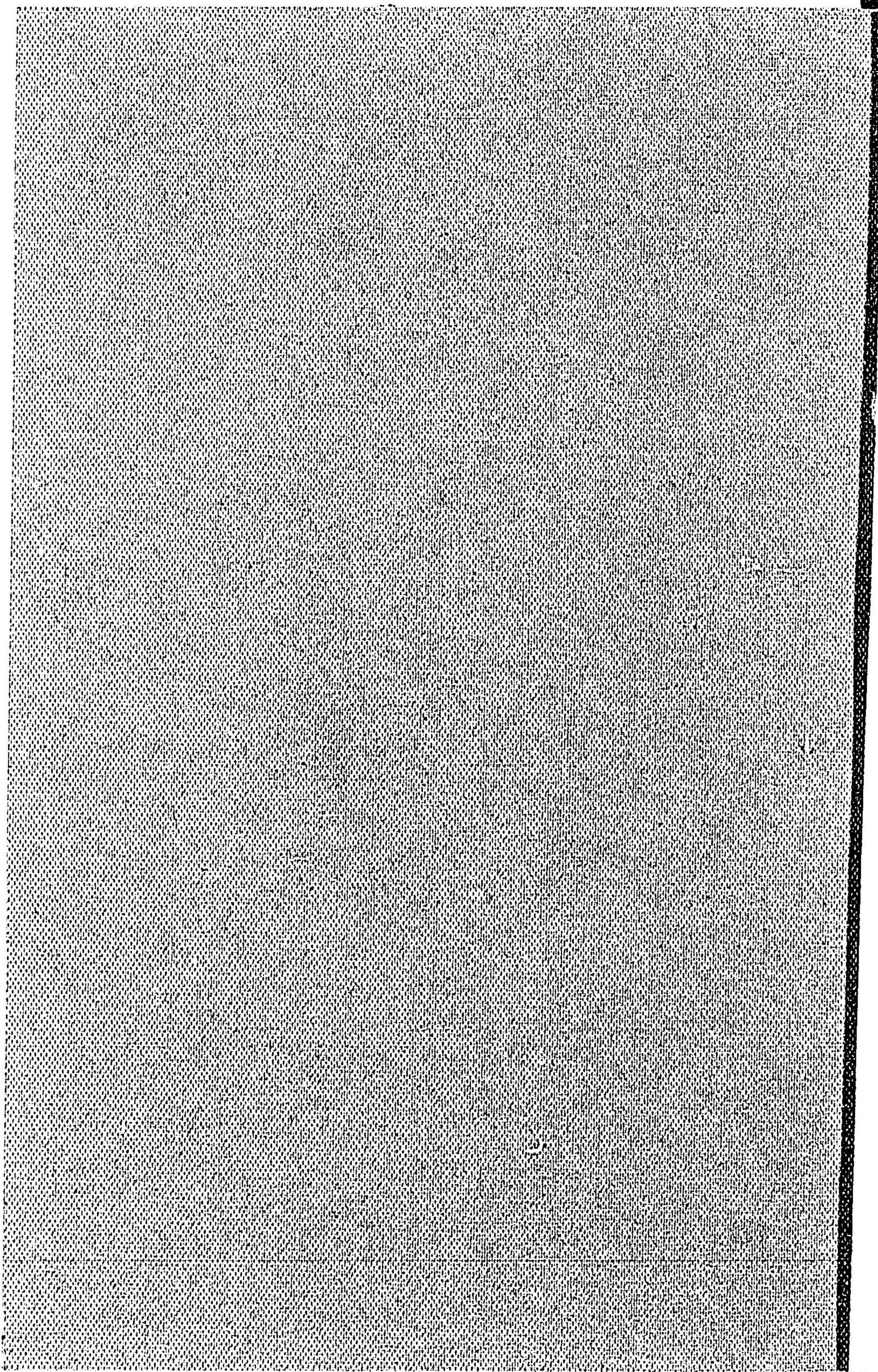
發行者 藤田萬之助

三重縣多氣郡相可村大字
相可八十三番屋敷

印刷者 萬部小兵衛

三重縣飯南郡射和村大字
射和百四番屋敷





181

特54

181

郷土地誌及史談

国立国会図書館

025330-000-8

特54-181

郷土地誌及史談

浦和 彦七/著

M29

ADC-2766

